



くらし満足度日本一を目指して ～千葉県総合計画「輝け！ちば元気プラン」 がスタート～

千葉県知事 森田 健作

一 計画策定の基本的考え方

私は、昨年知事に当選した際に「本県を取り巻くさまざまな困難な課題を乗り越え、光り輝く千葉を築き、次の世代に確実に引き継いでいくために、まず、県民に将来の目標や目指すべき将来像を示すことが、私に課せられた大きな使命である。そのためにも、県政運営の中長期計画の策定が是非とも必要である」と考えました。

このため、各方面から幅広くご意見をいただきながら、新たな総合計画となる「輝け！ちば元気プラン」を策定し、議会の議決を経て、この四月から正式にスタートいたしました。

この計画は、県政運営の基本となるもので、県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画となるものです。

また、この計画を実効あるものとするため、「行政改革計画・財政健全化計画」をあわせて策定し、計画の着実な推進を支えていくことができる行財政基盤を確立することとしました。

計画の基本理念は、県民の皆様が、「元氣と活力を取り戻し、「千葉で生まれ、住み、働いてよかった」と思える千葉県にしたいとの願いから、「県民が『くらし満足度日本一』を感じ、誇れる千葉の実現」としました。

二 基本構想編（千葉県が目指す姿）

基本構想編では、基本理念の実現のため、「安全で豊かなくらしの実現」

「千葉の未来を担う子どもの育成」

「経済の活性化と交流基盤の整備」

という三つの基本目標を設定いたしました。

この基本目標に沿って、本県の進むべき十年後の千葉県の姿を、分かりやすく具体的に示しました。

三 実施計画編（重点的な施策・取組）

実施計画編では、今年度から三年間で重点的に取り組む政策等を掲げました。○は主な取組みの一例です。

（一）安全で豊かなくらしの実現

災害に強く、事件や事故に遭わない、安全に暮らせる社会づくり、地域の医療や福祉を支える体制の整備などを進めます。

国際交流、文化の創造、スポーツの振興、自然環境の保全・再生に取り組めます。

○犯罪の起こりにくいまちづくりを進めるため「移動交番車の導入による防犯ネットワーク」を進めます。

○今年度本県にとって一大イベントとなる「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会の開催」に当たっては、夢と感動にあふれた大会となるよう県民総参加で取り組みます。

（二）千葉の未来を担う子どもの育成

地域社会全体で子育てを支援する体制づくりや多様なサービスの提供、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを促進します。

豊かな心と健やかな体を持ち、責任ある行動と自己表現ができる子どもを育てます。

○子育て世帯の経済的負担の軽減のため「子どもの医療費助成の充実」や、保育所の入所待機児童の早期解消などを図る

「地域における子育て支援体制の整備」を進めます。

○教育面では子どもたちが郷土や国を愛する心をはぐくみ、他人を思いやることができる心育てる「心の教育のかなめとなる道徳教育の充実」を推進します。

（三）経済の活性化と交流基盤の整備

観光資源など千葉県の持つ宝・ポテンシャルを最大限に発揮させ、活力ある経済を持続させるための取組み、力強い農林水産業の確立、交流拠点都市の機能の充実や質の高いまちづくりを進めます。

○年間発着枠三十万回の早期実現を図るなど「成田国際空港の機能拡充」に努めるとともに、成田空港と羽田空港間の交通アクセスの一層の強化を図る各種施策を展開します。

四 計画の推進に当たって

重点的な施策・取組みを効果的に実施するため、県民・市町村・他都道府県などとの連携・協働や男女共同参画、ITの活用を推進します。

また、行財政基盤の強化、政策評価制度による進行管理にも取り組みます。

私は「輝け！ちば元気プラン」を実行するため、県民・市民活動団体・企業・大学など多様な主体との「チームスピリット」の下、まず「やるんだ」という情熱と自信をもって、千葉の可能性を最大限に生かし、「各分野において日本一を目指す県政運営」を進めていきたいと考えています。